

## 「東日本大震災で被災したカップルの挙式者」カップル決定！

この度の東日本大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。  
本学チャペルでの結婚式でアシスタントをしている学生スタッフが、「震災により結婚式をあげられないカップルのお役に立てることはないだろうか」と考えた企画です。阪神大震災から復興した神戸にある本学のチャペルでの結婚式から新しいスタートとなる新郎新婦と一緒に、被災地を応援したいと願っています。

挙式日時： 2011 年 9 月 19 日 (月・祝) 14:00 お披露目：15:00~

挙式場所： 神戸松蔭女子学院大学チャペル

### 結婚式 & お披露目内容

本学のチャペルでチャプレン (牧師) の司式のもと、学生の運営による手作りのキリスト教式結婚式を挙げていただきます。新婦のウェディングドレスは、ファッション・ハウジングデザイン学科の教員と学生がデザイン・制作いたします。結婚式後は、お二人のお披露目を兼ねた楽しい演出 (挙式者には内緒) も予定しています。さらに、学生の企画に賛同をいただいている神戸市内の宿泊施設に滞在していただいた翌日は、学生がリサーチしたオリジナル神戸観光マップで、新婚旅行を兼ねた神戸観光も楽しんでいただければと考えています。

式場のチャペルは美しい音響によって多くの CD 録音にも使用されており、結婚式を彩るオルガン演奏は 18 世紀のパリの様式を再現したパイプオルガンを使用いたします。

### 挙式者決定までの経緯

地震の直後から関係者を通じて挙式者を募りましたが、該当者があられず、6 月 1 日にマスコミを通じて公募いたしました。応募期間は約 1 ヶ月半、応募総数は 2 組でした。学生と教職員で協議し、もう 1 組をお断りすることも忍びない状況でしたが、1 組に決定いたしました。

### 新郎・新婦のプロフィールと応募への思い

新郎：佐久間 善秀さん 27 才 (1984 年 3 月 3 日生まれ) 福島県郡山市在住

新婦：佐久間 博子さん 26 才 (1984 年 12 月 5 日生まれ) 福島県郡山市在住

お二人は、福島原発から 30 km 圏内の町にお住まいでした。5 月 22 日に結婚式を挙げる予定で、善秀さんの誕生日 3 月 3 日に入籍、招待状を発送し、ウェディングドレスの試着等、結婚式の準備をしている段階での地震でした。さらに博子さんは、3 月 17 日から社員旅行で初めて神戸へ行く予定でしたが、この旅行も地震で中止になってしまったそうです。

地震から 2 カ月が経過し、結婚式をするはずだった 5 月 22 日、2 人は避難先で過ごし、「一緒に居られるだけで幸せなんだ」と思う反面、地震がなければ今頃教会で結婚式を挙げているはずだったと考えると涙が止まらなかったそうです。入籍は済ませたものの、結婚式で伝えたかった両親への感謝の気持ち、ご両親に留袖やモーニングを着せてあげたかったという思い、「私たちは結婚式をただただ挙げたかっただけなのにどうして...。結婚式なんて大嫌い」と思っていた時、新聞で本学の挙式者募集の記事を見た善秀さんのお母様が博子さんに応募を勧めてくださったそうです。応募をするためのプロフィールを書いているうちに、博子さんの気持ちも落ち着き、今は、神戸での結婚式をととても楽しみにしておられます。

現在、お二人は 3 月 11 日東日本大地震の事は絶対に忘れない、逃げもしないと心に決めて新しい生活をスタートされています。